

2022年度 川俣町×近畿大学国際・経済・社会連携チーム 業務実施報告書

1. 活動名

福島県川俣町福田地区の方々と一丸となり、福田地区オリジナルかるたを制作する。

2. 活動目的・背景

2022年3月31日で閉校となる川俣町内の小学校(福田小学校、富田小学校、飯坂小学校、川俣南小学校)の子供たちに何か思い出を形にしてプレゼントしたいと思ったことから当プロジェクトを開始した背景である。また地域の特色を生かしたオリジナルかるたを製作することで、対象地域である福田地区の歴史や文化などの魅力をほかの地域の人々にも知ってもらい後世にも伝承して行くことを目的としている。

3. 参加者

福田小学校の生徒45名・教員8名程度、公民館長、おじま交流館の方々、福田地区長の橋本様、自治会の方々、画家の佐藤様

4. 活動内容

11月4日~11月7日・・・福島県川俣町訪問。公民館長さんへのヒアリングや、福田小学校との交流に関して地区長さんとの会議を行った。

11月4日・・・川俣町役場に挨拶に行った。公民館長さんに、川俣町の歴史や文化についてヒアリング調査を行なった。

11月5日・・・福田小学校の全校生徒たちとの交流会を開催し、生徒の方に学校を案内してもらったり、体育館でミニゲームを行った。また、先生方、校長先生、教頭先生と今後のかるた製作に関する計画について会議した。夜は昨年度のレンタサイクル事業でおじま交流館に寄贈したサイクリング用の自転車の組み立てを行った。



↑福田小学校での交流の様子

11月6日・・・昨年度までのレンタサイクル事業で寄贈した自転車で地区内のサイクリング・コースの確認を行った。また、かるた制作に向け川俣町の歴史や文化を知るため、公民館にある書籍を読み、情報収集を行った。川俣町の魅力について知らないことをたくさん知ることが出来た。



↑地区内のサイクリングの様子

1月24日・・・福田小学校の6年生の生徒たちに対してオンラインでかるたの説明を行い、2人1組のグループになってもらい、かるたの読み札の作成を行った。zoomでの交流だったが、小学校の先生たちのサポートのおかげで円滑な交流を行うことが出来た。



↑オンラインでのかるた作成の様子

2月以降は、本格的にかるたの制作を開始した。福田小学校の全学年の生徒とかるたの作成を行った。(1、2、3年生は絵札、4、5年生は絵札と読み札、6年生は読み札を担当)そして近畿大学のメンバー3名もかるたの読み札と絵札の作成を行った。また、橋本様の協力のもと、水彩画家の佐藤様にも絵札を担当していただいた。

3月に完成したかるたは福田小学校の全校生徒、自治会、町役場などに寄贈する予定である。

5. 成果

小学校の生徒たちや地域の方々とたくさん交流することができた。小学校の先生方とは交流前日・当日共に念入りなミーティングをしていただいたため、子供たちとの交流が上手くいった。また集団下校に少しでも参加させていただいたことにより、先生たちから地域の暮らしや関わり方について有力な情報を得ることができた。

子供たちとは交流会の際に学校を案内してもらったり一緒に交流をしたりした。1月にはオンラインにてカルタの読み札を作成してもらうことができた。地域の橋本さんには、訪問時複数回にわたりミーティングをしていただいたり、カルタのネタをたくさんいただいた。地域に居住する方から直接地域の良いところを伺うことができた。

かるた製作においては、小学生の視点から感じる地域の特徴や魅力を文と絵にすることができ、引き継がれる地域の関わりを実感した。また、橋本様のご紹介で福田地区に在住している水彩画を描かれる佐藤様にも協力して頂き、コロナ渦でありながら、小学生のみでなく、地域の方々の力が合わさったかるたを作成することができた。

6. 所感

今年度で閉校になる小学校が4校もあるということから、初めは同地域を少子高齢化に悩む地域だと印象付けていた。しかし実際福田地区の人々は自然にいつも囲まれているせいかとてもパワフルな印象であり、また私たちの活動にも積極的に参加して下さった。今回関わることができた子供たちものびのびとしていた。1校当たりの生徒数が少ないことから、子供たちは年齢を問わず他学年の子供たちと仲よく遊んでおり、これが地域ならではの深い絆やつながりを生み出しているのではないかと感じた。またこの深い絆やつながりは福田地区だけでなく、他の地域でも同様に確認することができると思う。そのため、図書館や公民館での活動や、小学校に授業の一環として取り入れてもらうことで必要な人員を集めることができ、コストの面でも負担が少ない「地域オリジナルかるた」の制作は今後町おこし・地域おこしの良いアイデアとして利用できるのではないかと考える。

7. 今後の予定について

メンバー全員が3月に卒業予定であり、活動の後継者が見つからない。また今年度の活動である「かるた制作」は今年度で完了予定である。しかし、私達が直接関わることは出来ないが、今回の福田地区でのプロジェクトをモデルとして他の地区への拡大や町全体での取り組みに発展させてはどうかと考え、関係した方々を通じて働きかけていきたい。